

連体 かかる ほどに 格助(時) 、 宵 格上二・用 うち過ぎ 格助(単純) て 子 格助(連体) の 時 副助(程度) ばかりに 格助(時) 、 家 格助(連体) あたり 昼 格助(連体) の 明かさ 格助(比較) に 格助(強意) も 過ぎ 格上二・用 て 光り 格四・用 たり 格助(時) 。 望 月 格助(連体) の 明かさ 格助(対象) 、 十 格下二・用 合はせ 格助(程度) ばかりに 格助(強意) たり 格助(単純) 、 ある 格下二・用 人 格助(連体) の 毛 格助(連体) の 穴 副助(添加) さへ 格助(強意) 見ゆる 格下二・用 ほど 断・終 たり 格助(程度) 大空 格助(起点) より 格助(起点) 、 人、雲 格助(場所) に 格助(場所) 乗り 格四・用 格助(単純) て 格助(単純) 降り来 格下二・用 て 格助(単純) 地 格助(起点) より 格助(程度) 五尺 副助(程度) ばかり 格助(程度) 上がり 格四・用 たり 格助(程度) ほど 格助(場所) に 格助(場所) 立ち連ね 格下二・用 格助(単純) たり 格助(単純) 。 これ 格助(対象) を 格助(単純) 見 格上二・用 たり 格助(単純) 、 内外 格下二・用 なる 格助(連体) 心 格助(場所) に 格助(場所) 物 格助(受対) に 格助(受対) おそは 格四・未 格助(受対) る 格助(受対) やうに 格助(単純) て 格助(単純) 、 あひ戦は 格四・未 格助(受対) る 格助(受対) 心 格助(同趣) も 格助(同趣) なかり 格助(場所) けり 格助(場所) 。 からうじて 格助(副) 思ひ起 格四・用 たり 格助(単純) て 格助(単純) 弓矢 格助(対象) を 格助(対象) とりたて 格下二・未 格助(受対) る 格助(受対) と 格助(引用) すれ 格下二・未 格助(受対) ども 格助(逆確) ども 格助(逆確) 、 手 格助(対象) 力 格助(同趣) も 格助(同趣) なく 格四・用 たり 格助(単純) て 格助(単純) 、 妻えかかり 格四・用 たり 格助(単純) 。 中 格助(場所) に 格助(場所) 、 心 格助(対象) さかしき 格助(対象) 者、念 格下二・未 格助(引用) て 格助(引用) 射 格上二・未 格助(引用) る 格助(引用) と 格助(引用) すれ 格下二・未 格助(逆確) ども 格助(逆確) 格助(方向) へ 格助(方向) 行き 格四・用 格助(過・已) けれ 格助(順確原因) ば 格助(順確原因) 、 荒れ 格下二・用 格助(強意) も 格助(強意) 戦は 格四・未 格助(打接) で 格助(打接) 、 心地 格助(副) ただ 格助(場所) に 格助(場所) 痴れ 格下二・用 格助(強意) に 格助(強意) 痴れ 格下二・用 格助(強意) て 格助(単純) 、 まもり 格四・用 格助(強意) あへ 格四・已 格助(強意) たり 格助(強意) 。 似 格上二・未 格助(存体) ず 格下二・未 格助(存体) 飛ぶ 格四・未 格助(存体) 車 格助(存体) 具 格下二・未 格助(存体) たり 格助(存体) 。 羅蓋 格四・用 格助(存体) たり 格助(存体) 。 そ 格助(連体) の 格助(連体) 中 格助(場所) に 格助(場所) 王 格助(引用) と 格助(引用) おぼしき 格助(引用) 人、家 格助(対象) に 格助(対象) 、 「造麻呂、まうで来 格下二・未 格助(引用) 」と 格助(引用) 言ふ 格四・未 格助(単純) に 格助(単純) 、 猛く 格四・用 格助(単純) 思ひ 格四・用 格助(単純) つる 格助(同趣) も 格助(同趣) 、 物 格助(原因) に 格助(原因) 酔ひ 格四・用 格助(単純) たり 格助(単純) 心地 格助(結果) に 格助(結果) うづむし 格助(結果) に 格助(結果) 伏せ 格四・已 格助(結果) り 格助(結果) 。 いはく 格四・未 格助(結果) 、 「なむぢ、をさなき 格下二・未 格助(結果) 人。 ナリ・体 いささかなる 格助(対象) 功德 格助(対象) を 格助(対象) 、 翁 格四・用 格助(過・已) ける 格助(原因) に 格助(原因) より 格助(原因) て 格助(単純) 、 なむぢ 格助(連体) が 格助(連体) 助け 格助(手段) に 格助(手段) と 格助(引用) て 格助(単純) 、 片時 格助(連体) の 格助(連体) ほど 格助(引用) と 格助(引用) て 格助(単純) くだし 格助(過・已) し 格助(逆確) を 格助(逆確) 、 そ 格助(副) の 格助(連体) 年 格助(副) ろ、そ 格助(副) の 格助(連体) 黄金 格助(副) 給ひ 格助(副) て 格助(単純) 、 身 格助(対象) を 格助(対象) 変へ 格助(下二・用) たり 格助(連体) こと 格助(比・語幹) たり 格助(存・終) たり 格助(存・終) 。 かくや姫 格助(係助(區別)) は 格助(係助(區別)) 、 罪 格助(対象) を 格助(対象) つくり 格助(ラ四・已・尊・補) 給ひ 格助(ラ四・已・尊・補) り 格助(過・已) けれ 格助(係助(順確原因)) ば 格助(係助(順確原因)) 、 かく 格助(副) いやしき 格助(副) 己 格助(格助(連体)) が 格助(格助(連体)) もと 格助(場所) に 格助(場所) 、 し 格助(副) しばし 格助(サ変・用・尊) おはし 格助(サ変・用・尊) つる 格助(断・終) たり 格助(断・終) 。 罪 格助(連体) の 格助(連体) 限り 格助(タ下二・用) 果て 格助(完・已) ぬれ 格助(係助(順確原因)) ば 格助(係助(順確原因)) 、

かく迎ふるを、翁は泣き嘆く。あなたはぬことなり。はや出だし

ラ四・命・謙・補。格助(引用)。言ふ。翁、答へて申す、かぐや姫

を。格助(対象)。養ひたてまつる。こと、二十余年に。なりぬ。『片時』と

ハ四・体・尊。格助(順確)。、あやしくなり。はべりぬ。また異所に、かぐや姫

と。格助(引用)。申す。人ぞ。おはす。らむ。と。言ふ。ここに、かぐや姫

サ変・体・尊。おはする。かぐや姫は、重き病を。し給へば、え

ダ下二・用。おはします。まじ。と。申せ。ば、その返り事

は。格助(区別)。なく。て。屋の上。に。飛ぶ車を。寄せて、

「いざ、かぐや姫、きたなき所に、いかでか。久しくおはせむ。」

と。格助(引用)。言ふ。立て籠めたる所の戸、すなはち、ただ開きに

ぬ。格助(同趣)。も、人は。なくして開きぬ。媯。いだきて

み。存・体。たる。かぐや姫、外に。出でぬ。えとどむ。まじけれ

ただ。ガ四・用。さし仰ぎて。泣きをり。